

平成21年度食品安全確保総合調査活用方針

課題名	活用方針
食品の安全性に係るリスコミュニケーションの効果に関する調査	2,000名の一般消費者を対象とした食品安全に関する消費者意識のアンケート調査結果については、今後の食品安全委員会からの情報提供のあり方についての検討や意見交換会の課題選定の参考とする。また、介入試験結果については、テーマや対象毎にきめ細かに実施する意見交換会等の計画、実際の運営の参考とする。
食品の安全性に関する効果的な教育啓発素材に開発に関する調査(副読本)	教育啓発素材(指導要領も含む)は15,000部印刷、内約11,000部は自治体を介して全国の中学校にサンプルとして配布する。併せて印刷用データを提供し、各地域において増刷して授業等への活用を促す。また、地方の学校教育現場での子供向け意見交換会で活用するほか、小規模な意見交換会等においても活用する。
食品の安全性に関する小学生向けの啓発素材に関する調査(DVD)	DVD 3,000本を複製、一般公募し、学校教育現場を優先したうえ選抜配布するとともに、自治体の関係部署にも配布し、地域での親子等を対象とした各種取組での活用を促す。

いずれも食品安全委員会ホームページに掲載